

得意分野は、神道・儒教・仏教・日本史！

大倉精神文化研究所図書館



(財)大倉精神文化研究所所属図書館
 横浜市港北区大倉山二丁目10番1号
 TEL: 045-542-0050
 開館日 火曜～土曜 9:30～16:30
 休館日 日・月・祝・年末年始・その他
 利用 どこにお住まいの方でも利用可
 貸出 無料で一人5冊 2週間まで
 蔵書数 約9万3千冊(H19.3.31現在)

港北図書館発、「市内の“使える”図書館を紹介します！」

2月中旬から下旬頃、梅林が見ごろの港北区大倉山公園に大倉山記念館(東急東横線大倉山駅から徒歩7分)があります。この記念館は昭和7(1932)年、実業家で後に東洋大学学長を務めた大倉邦彦により「東西両洋における精神文化の学術的研究を行い、知性並びに道義の高揚を図り、公民生活の向上充実に資し、もって世界文化の進展に貢献する」ことを目的とする「大倉精神文化研究所」として創建されました。その建物の一角にあるのが大倉精神文化研究所図書館(以下、研究所図書館)です。研究所図書館は哲学、宗教、歴史などの図書や雑誌を入門書から専門書まで数多く揃えて一般公開しています。

研究所専任研究員の平井氏は、港北区役所の生涯学習情報誌「楽遊学」に「港北区の歴史と文化(シリーズわがまち港北)」を連載されています。記事は研究所ホームページ(*1)上でも読むことができます。執筆に当たっては、港北図書館の資料を参考にすることもあるそうです。シリーズ第24回では港北図書館、第77回では横浜市立図書館ホームページの電子百科「都市横浜の記憶」(*2)も紹介されています。

港北図書館では、昨年開催した横浜線開通100周年企画展示を研究所図書館と共同で企画し、好評を得ました。今後も連携を図っていく予定です。

神道・儒教・仏教・日本史などの参考書に関する質問も受け付けてくれますので、この分野に興味のある方は一度、梅の花でも愛でがてら、おいでになってはいかがでしょうか。

*1 <http://www.006.upp.so-net.ne.jp/ookuraken>

*2 <http://memories.lib.city.yokohama.jp/cats/>



図書館カレンダー (のある日は休館日、網かけは午後5時まで)

2月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21*	
22	23	24	25	26	27	28	
・	・	・	・	・	・	・	
*都筑図書館は電気設備点検のため臨時休館							
3月	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30	31	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	・	

@ Lib ミニブックリスト (13)

「あなたと家族をまもる！ “防災”の知識」

1月17日は「防災とボランティアの日」。災害が起きた時、私たちはあわてずに行動することができるでしょうか。今回は「防災」に関連した本を紹介します。

「平成関東大震災 いつか来るとは知っていたが今日来るとは思わなかった」

福井晴敏 / 著 講談社 2007

都庁のエレベーターから辛くも脱出した男は、地震に詳しい謎の青年と、瓦礫と化した街を自宅めざして歩きだす。家族は、家は無事なのか？『亡国のイージス』の著者の描く、リアルな実践的シミュレーション小説。



「緊急地震速報 そのとき、あなたは、どうしますか？」

渡辺実 / 著

角川SSコミュニケーションズ(角川SSC新書) 2008

2007年10月より運用がはじまった緊急地震速報。本書では制度の概要と問題点をはじめ、実際に速報を受けたときにどう行動すればよいのかを知ることができます。

「これからの都市水害対応ハンドブック 役立つ41知恵！」

末次忠司 / 著 山海堂 2007

最近注目の「ゲリラ豪雨」。水害は、ごく身近な災害です。いざという時の避難の仕方、キャンプ中の注意事項、防災準備などは、一度確認しておくだけでも違うもの。水害への対応のポイントを簡潔に紹介する1冊です。

「人は皆「自分だけは死なない」と思っている」

山村武彦 / 著 宝島社 2005

火事なのに逃げない、津波警報を聞いて海を見に行く…。人はなぜそんな行動をとるのか？危険が迫ったときの心の動きを知ることで、「心の防災袋」を用意するための本。

「阪神・淡路大震災10年 新しい市民社会のために」

柳田邦男 / 編 岩波書店(岩波新書) 2004

幾重にも上る煙、瓦礫と化した家。あのときの光景が今では嘘のように「復興」を遂げた神戸。しかし、本当に人々の暮らしは復興したのか。震災から10年。何をを行い、何を行わなかったのか。到達点と問題点を浮き彫りにします。

横浜市立図書館一覧

図書館	電話番号	図書館	電話番号
中央図書館	262-0050	瀬谷図書館	301-7911
旭図書館	953-1166	都筑図書館	948-2424
泉図書館	801-2251	鶴見図書館	502-4416
磯子図書館	753-2864	戸塚図書館	862-9411
神奈川図書館	434-4339	中図書館	621-6621
金沢図書館	784-5861	保土ヶ谷図書館	333-1336
港南図書館	841-5577	緑図書館	985-6331
港北図書館	421-1211	南図書館	715-7200
栄図書館	891-2801	山内図書館	901-1225

保土ヶ谷図書館は耐震補強等工事のため休館、仮設窓口で一部業務のみ実施

開館時間

火曜日～金曜日：午前9時30分～午後7時 (中央図書館は午後8時30分まで)
 ただし、学習室・児童書コーナーは午後7時まで
 土曜日・日曜日・月曜日・祝(休日)・12月28日：午前9時30分～午後5時